



認証番号 24.

SCSKニアショアシステムズ株式会社 宮崎開発センター

■所在地／宮崎市橘通東4-7-28 TOKIWA30ビル

■業 種／ソフトウェア開発

■代表取締役社長／田邑 富重

■代表者／システム開発第三事業本部 宮崎第一開発部部長 那須 敏幸



一人一人のライフスタイルに合った働き方を推進!

SCSKグループ全体で、月間平均残業時間20時間以下、年次有給休暇100%取得を目指す取組をしている。また、家族に配慮した休暇制度を充実させ、働きやすい職場環境づくりに取り組んでいる。

有休取得率
95%

Q 取り組むきっかけは?

IT業界特有の課題でもある長時間労働がまん延し、昼休みになると疲れて自席で寝ている社員の姿が多く見られました。そんな負のスパイラルを打破するため、2013年度からSCSKグループ全体で『スマートワーク・チャレンジ20』を掲げ、グループ一丸となって**働きやすい職場環境づくり**に取り組んできました。

Q 取組の内容は?

『スマートワーク・チャレンジ20』では、**月間の平均残業時間を20時間以下、年次有給休暇日数20日の100%消化**を目標に、職場環境改善に取り組みました。特に年次有給休暇は、休みが集中しないように、全社員が年度初めに年間取得計画を立て、スタッフ同士で協力し合いながら取得の推進を図っています。

また、在宅勤務制度の拡充や各種休暇制度の見直しなど制度面での改善も進めてきました。子どもが体調を崩した際の「**看護休暇**」や「**介護休暇**」、子どもの参観日や学校行事の際に取得できる「**両立支援休暇**」を設けるなど、家族に配慮した休暇制度の改善にも力を入れています。

Q 取組の成果は?

以前は、残業や休日出勤は当たり前、納期前は帰宅が深夜になることも多く、長時間労働を美学だとさえ考える風潮がありました。しかし、社員、経営層が一丸となり、職場環境改善を進めた結果、**計画的な有休取得や残業時間の削減**が実現できる体制となりました。その成果として、男性・女性社員問わず子どもの学校行事などにも積極的に参加するようになりました。

Q 今後の取組について

『働きやすい、やりがいのある会社』を目指しています。そのために、「スマートワーク」以外に**リモートワークの推進**、オフィス内の**フレックスアドレス化**(効率的な場所で仕事を行う)などの「多様な働き方への対応」を進めており、社員一人一人にあった働き方を実現できるような取組を行っています。

今後は**副業制度導入**や**介護制度の充実**を図り、よりフレキシブルな働き方を推進していきます。ほか、**社員の健康増進**にも配慮しており、健康的な良い行動に関してポイントを与えるなど「健康経営」にも力を入れています。今後も社員の健康増進に向けプログラムを強化していきます。

【従業員の声】

VOICE

在宅勤務とスーパーフレックス制度を組み合わせることで時間を確保し、自身の健康と家族の幸せのためにジョギングしています。(40代男性)

2年前に育休から復帰しました。時短勤務や子の看護休暇を利用し、育児と仕事を両立させています。在宅勤務も社内に浸透し、社員それぞれのライフスタイルに合わせた働き方が可能になりとても働きやすい職場になりました。(20代女性)

【代表者の声】

システム開発第三事業本部
宮崎第一開発部部長 **那須 敏幸**

8年前に取組を始めた時は働き方改革を悲観的に捉える社員が多くなりましたが、今では当たり前になりました。在宅勤務も新型コロナウイルス拡大に伴い一気に加速し、在宅率60%前後で推移しています。今後は、一人一人のライフスタイルに合わせ、互いに尊重・協力しながら働きやすい職場環境を実現させていきたいと考えています。

